

書道文化演習1 (国内) 平成十六年度報告

古谷 稔

「書道文化演習1」は、書道学科専門科目(自由選択)のうち、第二学年の履修科目である。本年で開講四年目を迎えた。毎年、国内文化施設での展覧会等の催しを活用しながら、授業形態も少しずつ調整を加えており、年度ごとに違いが出ている。それらはまた、受講者各自の心構えや自主性によって、大きな成果が期待されよう。

本年度はおよそ、次のような柱立てで演習授業が行われた。

A 都内学外研修 (日帰り)

【第一回】東京国立博物館

【第二回】畠山記念館

B 「絵巻に見る書道文化」をテーマとする研究発表

C 関西方面学外研修 (二泊三日)

A 都内学外研修 (日帰り)

【第一回】平成十六年五月一日(土) 東京国立博物館 午後二時三十分～五時

現地集合・解散。特別展「弘法大師入唐一二〇〇年記念・空海と高野山」を見学。本展覧会は、国宝二十一件、重要文化財一〇三件、および近年発見された宝物一六〇件を加えた高野山に伝来の文化財の全容が紹介された展覧会で、書道文化に関わる遺品も含まれている。主な展示品は左記の通り。

1、国宝 聾瞽指帰 弘法大師筆 二巻 平安時代 金剛峰寺

2、国宝 宝簡集・続宝簡集・又続宝簡集 二九八巻十五冊のうち四巻 平安～江戸時代 金剛峰寺

源頼朝書状(宝簡集巻第二所収)・僧円位(西行)書状(宝簡集巻第二十三所収)を含む

3、重文 即身成仏品 一巻 平安時代 金剛峰寺

4、重文 大和州益田池碑並序 一巻 平安時代 釈迦文院

- 5、重文 崔子玉座右銘 伝弘法大師筆 一幅 平安時代 宝亀院
 - 6、国宝 紫紙金字金光明最勝王経 十巻のうち二巻 奈良時代 竜光院
 - 7、国宝 大字法華経（明算白点本） 七巻のうち二巻 奈良時代 竜光院
 - 8、国宝 法華経巻第六（色紙） 一巻 平安時代 金剛峰寺
 - 9、重文 後小松天皇宸翰秘調伝授書 一幅 室町時代 西南院
 - 10、国宝 紺紙金銀字一切経（中尊寺経） 四二九六巻のうち五巻 平安時代 金剛峰寺
- 【第二回】平成十六年十月二十六日（火） 畠山記念館 午前十時三十分～十二時
- 現地集合・解散。平成十六年秋季展「季節の茶道具取り合せ」（畠山記念館開館四十周年記念）において、
- 1、国宝 藤原佐理筆書状（離洛帖） 一幅 平安時代
 - 2、国宝 煙寺晚鐘図 伝牧谿筆 一幅 南宋時代
- ほかを見学。1の藤原佐理筆書状（離洛帖）の脇に、近衛家熙摸写「藤原佐理筆書状（離洛帖）」（一幅・江戸時代）も同時に展示されており、鑑賞の資となった。

B 「絵巻に見る書道文化」をテーマとする研究発表

絵巻は絵巻物ともいい、物語を絵画化したもので、その多くは絵と詞書から成り立っている。とくに平安時代末期から鎌倉時代にかけて盛行し、十四世紀には宗教的教化の手段として社寺縁起や高僧伝が多く作られた。本演習においては、まず取り扱う絵巻の概要、制作年、絵巻の特徴、詞書の書風、執筆者、寄合書きかどうか、などについて、従来の研究をもとに書道史的な考察をする。次に絵巻の画面に見える書道に関する描写、たとえば巻物・冊子・掛け物などのように取り扱われ、鑑賞されていたか、また、写経や手紙などの執筆法はどのようなものであったか。さらにやまと絵風に描かれた風景や人物、建築などの描法とともに、画面の情景を観察し、書道を中心とする日本文化の一端を考察する機会とした。これらは秋の恒例の関西方面学外研修にも繋がる基礎知識としての役割を果たしたと思われる。各班のテーマおよび発表者は次の通り。

【A班】「法然上人絵詞」

岸野 田・田口仁美・松嶋美穂・渡辺里望・鈴木猛利・根本 知・黄木ひとみ

【B班】「慕婦絵詞」

大森晴奈・山田 紫・坂井千恵・池澤明美・小野つかさ・八木一絵
【C班】「弘法大師行状絵詞」

黒川淳介・花山貴尉・風神知佳・笠原麻代・渡辺奈津子・百合素子

【D班】「華嚴宗祖師絵伝」

坂本幸一・阿部佳奈子・上野谷強・中田華奈・吉田文代・松浦 巧

【E班】「石山寺縁起」

三浦智彦・立津友里・守田路広・山口晃子・斎藤あかね・真中久仁枝

【F班】「玄奘三蔵絵詞」

伊敷三香・村上正子・小池侯晴・山本晃一・上籠圭介・橘智恵美

C 関西方面学外研修 (二泊三日)

平成十六年十一月二十三日(火) 午前八時～十一月二十五日(木) 午後七時三十分

参加者：前掲A班からF班までの書道学科二年生全三十六名。教員(古谷稔・高城弘一)二名。

【第一日】

東京駅日本橋口集合。東海道新幹線で京都駅へ。近鉄に乗り換え奈良駅で下車。徒歩にて奈良市杉岡華邨書道美術館へ、同館にて「関東女流五人展」を見学。熊谷恒子・大石隆子・森田竹華・堀桂琴・筒井敬玉の5名の遺作を見学後、東大寺へ。大仏殿・二月堂を拝観後、手荷物受取りのため再び杉岡美術館を経由して近鉄奈良駅へ。電車(途中地下鉄へ乗り換え)で四条烏丸駅下車。徒歩にて宿泊先へ。京都泊(平新旅館)

【第二日】

この日は貸切りバスにて行動。まず陽明文庫へ。十時から二時間程度、「国宝 御堂関白記」「国宝 大手鑑」「国宝 倭漢抄」「伝空海筆書譜断簡」「重文 冷泉為相・万里小路宣房贈答消息」ほか写経・古筆・懐紙・書状・典籍・古記録など、奈良(江戸時代の日本書跡を鑑賞。次に金閣寺を拝観し、平等院へ。同じ境内に近年、ミュージアム鳳翔館が開設、平等院の宝物は同所に収蔵され、展示によって拝観できる。さらに清水寺へ。拝観後、一路、宿泊先へ。京都泊(平新旅館)

【第三日】



大東文化大学文学部書道学科 於 清水寺(京都) 2004年11月24日

徒歩にて藤井有鄰館へ。十時から一時間余り見学。中国(北宋)の「黄庭堅筆李太白憶旧遊詩」ほか、書画・青銅器・仏像彫刻・工芸品などの優品を見学。一時解散後、自由行動。その間、有志により京都国立博物館で特別展「古写経―聖なる文字の世界―」(守屋コレクション寄贈五十周年記念)を見学した。主な展示品は以下の通り。

- 1、国宝 千手千眼陀羅尼經(玄昉願經) 一卷 奈良時代 京都国立博物館(守屋コレクション)
- 2、国宝 一字一仏法華經序品 一卷 平安時代 香川・善通寺
- 3、重文 一字蓮台法華經(如来神力品・囑累品) 二卷 平安時代 京都国立博物館(守屋コレクション)
- 4、国宝 扇面法華經冊子(卷第七・觀普賢經) 二帖 平安時代 大阪・四天王寺
- 5、国宝 久能寺經(譬喻品・化城喻品) 二卷 平安時代 静岡・鉄舟寺
- 6、国宝 平家納經(譬喻品・見宝塔品・提婆品・般若心經) 三卷 平安時代 広島・嚴島神社
- 7、重文 紫紙金字金光明最勝王經卷第二 一卷 奈良時代 滋賀・ミホミュージアム
- 8、重文 紺紙銀字華嚴經卷第四十六(二月堂焼經) 一卷 奈良時代 根津美術館
- 9、重文 解深密經卷第四(金沙子色麻紙) 一卷 奈良時代 京都・青蓮院

このほか、中国・朝鮮の写経も含めて古写経の名品が一堂に会した出揃った展覧会であった。

午後三時三十分宿泊先(平新旅館)に全員集合、京都駅へ。東海道新幹線で東京へ。東京駅で解散。全員無事で帰京し、関西方面学外研修を終えることができた。

以上が平成十六年度の「書道文化演習1」報告の概要である。